

# 第4回

講師:山崎圭一(教授)

5月10日(木)

コメント回答(コメントは大意要約です)

1 実際は80万円の仕事をしたのに給与が20万円ときいて、ショックだった。

回答:10年以上前の工場労働者を念頭においた計算結果と思います。最近も、また研究があるかどうか、調べてみる必要があります。いずれにせよ、この価値増殖機能が、労働力という商品の、一般的な使用価値です。その再生産コストは、月20万円とすれば、その等価を会社は払ってくれます。まあ20万あれば、なんとか生活はできるとすれば、それがあなたの再生産費用です。だから、「搾取」は、合法的等価交換なんです。

2 賃金のみで、離村決定ができるのか?愛村心で数値はかわるだろう。

回答:その通り。賃金だけではなく、多くの要因が、離村の「計算」に絡みます。またそもそも合理的計算をしていないという発想も、ありえる。

3 資本逃避がわからない。再度説明を。

回答:その国から資本が出ていくことです。その国の銀行におかねを預けないのが、一例。海外の銀行口座にお金を預けることです。あるいは海外の外国企業の株を買うことです。たとえばブラジル人がフランス企業の株を買うとして、レアルじゃかえないから、とうぜんフランにかえるために、為替取引のできる銀行で、レアルを売ります。そしてフランを買って、それで外国企業の株を買います。これで資本が出ていったことになります。資本逃避が生じると、自国通貨の価値が下落します。それは、今書いた経緯によります。

4 本源的蓄積論がわかりません。

回答:農業を主体とした封建時代が、都市の工業を主体とした資本主義社会へ変わる、近代化過程のことです。社会のあらゆる仕組みが大激変します。「労働市場」が歴史上はじめて生まれるわけです。(古代の奴隷市場は別にして)

5 ルイス・モデルの批判が、忘れた。

回答:口頭で。

6 1年次のグロエコとくらべて、内容が高度になっていて、今後が不安だ。

回答:そういわれると、わたしも不安です。いや、冗談です。大丈夫です。口頭ですごい事実をおしえてあげます。こんなこと知らない人でも、卒業できたんだという。

7 黒板の字を濃くして欲しい。

回答:了解です。

8 偽装失業の人の割合は、どのくらいですか?

回答:ゲゲゲ。すごい質問!(いい意味で)。考えておきます。赴任して14年間、初めてだ。

9 途上国にも富裕層は存在するとおもいますが、彼らから税金をとって、再分配することは政府はしないのか?

回答:残念ながら多くの途上国政府は逆のことをしてます。税制が逆進的なんです。消費税や付加価値税といった間接税が中心なので。直接税がとりにくいのです。みな、字がかけなくて、帳簿つけないから、(個々の収益計算はしているはずだが)事業所得税の申告計算ができないなどの事情がある。大学はただで、高等教育ほど安いのも、逆進的です。

10 価格<価値だから、人はものを購入するのに、バブルの頃は、どうして景気がよかったのだろう?価格>価値だったのに。

回答:前半は、間違いと思いますが。さて後半ですが、価格が価値から極端に乖離して高騰するのがバブルですから、その通りです。基本的に貨幣供給量が増えるので、景気はよくなるのです。

11 ルイス・モデルって、どのことですか?

回答:説明不足でした。口頭で補足します。

12 資本集約的の意味がわからなかった。

回答:そうですね。経済学用語は、辞典が必要です。考えていても、わからない。引くのが一番です。